

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ワンフロアなので、部屋の使い方や遊具の設定の仕方を工夫している。また、室内と戸外の活動に分けるなどして少人数で工夫している。 ・物の整理をきちんと行い、広いスペースを確保できるようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・国の基準より職員を多く配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・おもちゃなど目につく物は倉庫に収納し、必要な時に出したり、部屋にある物も刺激になりにくいように布で目隠した環境にしている。 ・夫々の子どもが使用する物にはマークを貼り、自分の物がどこなのか分かるようにしたり、写真をしようとして遊びの予定やメンバーを伝えるようにしている。 ・トイレや手洗い場に踏み台を用意している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・療育終了後は掃除や消毒を実施。週1ではさらに細かい部分の清掃も行っている。 ・複数で跳べるトランポリンや吊り具等の大型遊具も設置している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて2階の部屋を利用している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・療育開始前と終了後に職員全員で話し合っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートを受けて改善もしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返り、月1回のグループ会議でいろんな職員の意見を聞く場を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価による外部評価については、現在予定はないが、実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・月1回、グループ会議で療育内容の検討、遊びの提案、カンファレンス等を行っている。 ・研修案内ファイルから受講したい研修を見つけやすい環境にし、希望したものに参加できるようにしている。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2025年3月中に公表する。	
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・共通のアセスメントシートを用いて複数の職員が話し合い、アセスメントを行っている。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日頃からの振り返りや、モニタリング時期などに話し合う機会は設けている。	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・グループごとに活動内容を設定し、児童発達支援計画を基に個別に必要な対応をしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・主に新版K式発達検査の結果を参考にしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子どもの発達や家族への支援を大事にして、具体的な支援内容を設定している。 ・領域別の支援目標や支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・グループごとに活動内容を設定し、児童発達支援計画をもとに個別に必要な対応をしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・グループごとに活動内容を立案し、職員全員で話し合い検討している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・基本的には集団活動を行っているが、子どもの様子によっては個別活動をする場合もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・療育前にホワイトボードなどを使ってその日の支援内容や役割について打ち合わせしている。また、遊びの目的や注意するポイント、役割分担などを話合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・療育終了後にどうしてそうなったか、どう対応したか、今後どうしていくかなどを話し合っている。また、支援内容や子どもの様子の記録も行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年ごとにモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・該当するケースがある場合は、会議に参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・児童福祉センター（発達相談所）、子ども若者育み室（局）保育園、幼稚園等と連携を行い、必要に応じて担当者会議を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者や園の先生の希望に応じて連携を行っている。集団での児童の様子を知り、療育での支援に活かしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・電話連携や支援シートへの書き込みなどを保護者の希望に合わせて行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				

	31	(31は、事業所のみ回答)		今年度はなかったが、必要があれば連携を図り、助言を受けたいと思っている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・主に保育園、幼稚園に併行通園している子どもが通ってきているため、交流する機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・写真を用いて支援内容や子どもの様子を伝え、共通理解に努めている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・家族学習会、保護者学習会、保護者グループを実施している。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・入園面接時に重要事項説明書を用いて説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	支援計画を作成前に保護者から、希望や要望を聞き取り反映させたうえで支援計画を作成している。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・保護者の希望や発達検査の結果、療育の様子など、総合的に捉えた上で、児童発達支援計画書を作成し、保護者と確認し同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・1ヶ月に1回、保護者グループを行い、個別相談日も設定し相談できる機会を設けている。・保護者グループの中で、保護者の方が子育ての悩みや情報交換をしやすいように取り組んでいる。・卒園後は法人内の相談室(有料)で相談しやすい環境にしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・御所ひろばだよりを年4回作成、配布している。 ・掲示板に様々な情報を掲示している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットで保管している。 また、個人情報を管理している端末にはパスワードを設定し適切に管理している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・必要に応じて電話対応やメール、書面などで伝達するようにしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・主に保育園や幼稚園と併行通園している子どもたちがほとんどなので、行事は設けていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・マニュアル作成、周知、確認(シミュレーション)はおこなっている。保護者にはしおりや重要事項説明書を通じて緊急時の対応等について伝えている。また、いつでも閲覧できるように保護者の部屋にマニュアルを置いている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・年2～3回避難訓練を実施している。また、年4回発行のお便りや、ホワイトボードに実施したことを表記するなどして報告している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	・年度初めに全職員で確認。(予防接種以外)その後も都度変更があれば確認している。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーがある方には、医師の指示書を基にアレルギー票に記載を依頼し、更新している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		AED研修は法人として取り組んだ。 遊具の点検も定期的に確認し、不具合は修繕のために業者に頼み修繕済み。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練したことはホワイトボードに掲示し、保護者の目に付きやすい場所でお知らせしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットがあった際は状況を話し職員で情報を共有すると共に、今後そういうことが起こらないよう、どう対応すべきかも話し合っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・マニュアルを策定し、年1回は研修を行っている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、対象者なし。